

6月号 ぶどう・りんごぐみだより

担任 東 ゆかり・岩永 千景

毎年、やってくるつばめさんが今年も帰ってきました。「つばめださんだ」「だんだん巣が出来てきているね」と一年に一回の再会を子ども達も喜んでます。6月は雨の季節で、カエルやカタツムリやアジサイ、梅の実など子ども達の好奇心を引き出すものがいっぱいです。どんな発見や驚きがあるか楽しみです。

6月の行事

- 5日(水) 火災訓練
- 8日(土) 親子田植え体験
- 12日(水) 遠足/お弁当の日
- 13日(木) 歯科検診 14:30
- 18日(火) 交通訓練
- 19日(水) 食育
- 27日(木) 内科健診 14:00
- 28日(金) お楽しみ会

今月の歌

- ・チポリーノの冒険
- ・種
- ・ほたる～じんじん～
- ・あまがえるのうた
- ・はのうた
- ・雨
- ・夏の樹

今月の絵本

- ・あめのひのピクニック・はたけのうた・あしのうらのはなし
- ・しりとりすきなおうさま・てんとうむしのてんてんちゃん
- ・チリとチリ

*歯ブラシの交換をお願いします。新しい歯ブラシに名前を記入して持たせて下さい

6月生まれのお友だち



**りんご組 山口りみさん ★5歳になります
6月16日生まれ**

お絵かきが大好きなりみさん。画面いっぱいに大きく、体験した事や自分でこんなことやりたいなとイメージを膨らませて描く想像画などを伸び伸びと描いてくれます。5月は『からすさんに鈴が渡せてよかった』と楽しかった遠足の思い出をお話ししながら描いてくれました。

○生活 ～ごみ集め行こう～

係りを始めて1ヶ月とちょっと経った頃、朝の準備の後パズル遊びや庭遊びに夢中になってしまうようで、保育士の声掛けがないと係り活動が始まらないようになってきました。そこで、声掛けをし

ないでいると、「人数がわからない」「ごみがたまって入れられない」という声を聞き、あわてて係り活動に行っていました。「なぜ、～をするのか」ということを伝えるためにもまずはわたし達(保育士)がやってみて「～してきれいになった」「喜んでくれた」と気持ちを言うことで伝わるのではないかということでした。わたし達がすることにしました。

係りをしながら「ごみあつめにきてくれてありがとうって言ってやらした」「きれいになって気持ちいいね」と言っていると、なんと次の日から「ごみ集め行こう」と率先して係り活動をしているぶどうさんの姿がありました。また、お弁当包みが雑に入れてあったので「これなら、みつけやすいでしょ」ときれいに並べなおすと、子どもたちが「みつけやすい」と言ってくれます。「うれしい」と気持ちを伝えると、次の日りんごぐみの子が「せんせい、わたしきれいにならべてみた」と見せてくれたり、掃除の時は、「部屋がきれいだと気持ちがいいね」と言いながら机のしたや隅の方を拭いていると、一緒に隅を拭いたりしていました。子どもたちに「させよう」と、自分たちの気持ちを押し付けたり要求するだけでは何も変わらないということを教えてもらいました。

◆食事 ～たまねぎクッキング～



今月も、収穫してきた玉ねぎを使って、玉ねぎ味噌汁を作りました。前日、写真入りの行程表を見て、ワクワクしていた子どもたち。当日の連絡帳で「明日は豆腐を切ると話してくれたので、一緒に豆腐切りの練習をしました」。

「豆腐を切るから練習しなくちゃと言ったので、買ってきて練習しました」と各家庭からご報告がありました。一緒に豆腐を切る練習をしてきたよ！ととても嬉しそうに話してくれる姿がとっても可愛らしかったです。

だし汁を取る時は、1人ひとりいりこを嬉しそうにもってお鍋にいれたり、だし汁の香りが漂ってくると「いいにおいがしてきた」「なんかおいしそう」と香りを楽しみました。豆腐を手のひらで切る事に挑戦した時は、豆腐に包丁を入れる事に、みんなドキドキしたようです。手のひらを切らないように慎重に包丁を動かし、用心しながら切っていました。「は一切れ



た」とほっと息を付く姿が印象的でした。

みそこしでは「1, 2, 3交代」と声をかけあったり、「あつかった～」と友だちと伝えあったり、そんな姿が愛らしかったです。

出来上がった玉ねぎ味噌汁は、とっても美味しくって、お鍋が空っぽになるほど、たくさん食べてくれました。

そして次の日も「先生、また玉ねぎ味噌汁つくりたいなあ」とつぶやく姿もありました。



～子どもと一緒に食事をしていますか？～

4歳にもなると大人と対等に話しができるようになります。大人と一緒に食事をし、会話をすることで、「おいしい」「おいしくない」「わたしの好きな味」などを理解していきます。また、人は他の人の行為や考え方を見て学び育ちます。大人が憧れの人であればあるほど、その人の行為を真似ようとします。ご飯の食べ方、スプーンや箸の使い方、魚の骨の取り方から「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつに至るまで、同じようにしたいのです。食事指導は決して「強制」でも「放任」でもありません。真似るに値する大人と一緒に食事をするのが大切になります。忙しい朝でも一緒に食事をしたいですね。

○全身運動 ～短縄跳び～

ぶどう組の子どもたちが日々取り組んでいる短縄跳び。運動会までに出来るようになりたいと、一生懸命に取り組んでくれています。片づけを終えて、すぐに縄跳びをだし、自主的に練習し、少しずつ出来るようになりました。そんな姿を見て、りんご組の子どもたちも「ぶどうさん私にも、僕にも貸して」と真似をして跳んでいる姿も多くなってきました。憧れ、憧れられる関係がこの取り組みでも広がっています。日々自分で目標を持ち、コツコツと努力を積み重ねる子どもたちは、本当に素晴らしいと思います。この積み重ねはきっと将来子どもたちの力となっていく事と思います。みんなが出来た！と喜びあえる日を私たちも楽しみにしています。

～跳び箱～

跳び箱の取り組みでは、りんご組さんは横3段を跳んでいます。1人の子が跳べると、「〇〇くんみたいに跳んでみたい！」と気持ちを

高ぶらせて、跳べる子が増えてきました。その姿にぶどう組の子どもたちも大喜び。「〇〇くん、〇〇ちゃんすごい！」と自分の事のように喜んでます！ぶどう組の子どもたちは縦4段に挑戦中です。（この跳び箱はちょっと大きいので、5段くらいの高さがあります）自信満々で跳ぶ子、出来るかな…と思いを巡らせながら跳ぶ子と様々ですが、日々やる気満々で取り組んでいます。今月から目標をさらに伸ばし、5段に挑戦していきたいと思えます。どんな姿を見せてくれるのか楽しみです！

〇ごっこ～絵本『ましろとからす』

みんなで遠足だ！と意気揚々と日奈久峠に向けて歩いていると、カラスさんに出会いました。「かー」と近づいてくると「からすだー」と喜びりんご組。「あーゆかり先生だ」と現実的なぶどう組さん。でも「ゆかり先生は熊を見つけにいったのよ」という声に「ちがうからすだ」と言い直す姿も…



からすさんが「ぶどう組さん、りんご組さんこんにちは！」「みんないい物もっているね、その水筒ちょうだいよ」というと絵本のフレーズを覚えている子どもたちは「だめだよ あげないよ」という子どもたち。そんなやり取りを楽しみつつ、からすさんが「実はましろに持っていかうとした鈴を落としてしまったんだ。困ったよ～」という「一緒に探してあげる」と快く答えてくれたので、一緒に探す事にしました。草むらを探したり、落ち葉の下を探したり「あれーないなどこだろう」「きらきらひかるよね」「どこにもないよ」と言っていると、ほら穴があり、「もしかしてこの中にあるかも」「風で飛ばされたんじゃない」「でも鈴は硬いから風では飛ばないよ」と科学的に答える子も。でも怖くて「怖い」と逃げる子どもたち。みんなで勇気をだして見に行けば見つかるかもと、勇気があるぶどう組さんから探します。

途中まで行くとやっぱり怖くて逃げるように出てきたり、「やっぱりないよ～」と逃げ出すように出てくるこどもたち、だけど、ほら穴にもだんだん慣れてきたころ、「なんか音がしたよ」と保育士がいうと、じーっとほら穴を見つけ「あそこに光っているものがある」と見つけたので、もう一度勇気を振り絞って試してみる



と、やっと見つける事ができて、喜びにあふれていました。

その後からすさんに鈴を渡し、「ましろのところに持って行ってね、ばいばい」とからすさんを見送っていた子どもたちです。



見送ったあと「暗い所で泣きそうだったけど泣かんかったよ、だって力をあわせたからね」「だって来年一年生だもん」「1回目は怖かったけれど、2回目は怖くなかったよ」「鈴が見つかってよかったよ」「あのカラスゆかり先生に似ていたよ」たくさんお話してくれました。次の日の連絡帳では、「遠足ドキドキの遠足だったんですね、〇〇もずーっとお話してくれました」「夕食中にカラスに鈴を渡した」と話していると、一羽のカラスが、カーカーとだけ鳴いて去っていきました。みんなのお家にお礼を言ってまわっているんだね、ということになりました」など、イメージを膨らませて頂きました。

次回もとっても素敵なおごっこ遊びが出来るようにと考えていますので、お楽しみに！

〇造形 ～折り紙～

5月は、折り紙でテントウムシを折りました。同じ工程を折っていきますが、りんごさんには少しむずかしいところがあると、同じチームのぶどうさんが教えてくれたり折ってくれたりしながら折っていきました。テントウムシの模様をシールで貼るのですが、畑にいるテントウムシと、「おんなじだ！」と喜んで作っていました。



～三つ編みに挑戦！～

縄跳びつくりのために、ぶどうさんは三つ編みの練習を始めています。赤、青、黄色の三色のひもを使って、「順番に上に乗せていくよ」とやりながら説明をするとしっかりと聞いています。実際に自分でもやってみると、思った以上に難しかったようで、「あれ？なんかちがう」「こう？」と、考えながら練習していました。一人でき始めると、先生も増え子ども同士で「次はこれ」「みとってよ」と教えあっていました。自分の縄跳びを作るんだ！と頑張っています。

～夏野菜の看板をつくったよ！～

看板作りに向けて、かなづちで土の中に打ちつける取り組みをしました。自分の手を打ってしまわないように、よく釘をみて打ちつ

けていました。紐に打ちつけた時は「なんか蛇みたいになったね」「ジグザグね」と紐を打ちつけた後に話していました。「とんかち楽しかった」「明日は看板つくる」と楽しみにしていた子どもたちです。



次の日、のこぎりの取り組みでは、保育士が見本を見せ、どうやって使うのか説明をしました。「りんごさんの時にした事あるー」「あーここで竹をきったもんね」でも1人ですると、木がぐらぐらしてしまう事を見た子どもたちは、「2人が後ろの板を持っていたらぐらぐらしない」「3人の方がいいかもしれないよ」と意見を出してくれたので、板を押さえる人と、切る人の順番を子どもたちがグループに分かれて話し合って決める事に。「リーダーから先にしよう」「〇〇ちゃん先にしていいよ」「次は僕がする」と会話が飛び交っていました。



グループごとに、のこぎりに挑戦。引きながら切るという事は、硬い木だったから難しい事だったようでしたが、挑戦意欲は消えませんでした。無事に切れると満面の笑顔で「切れたー」と喜んでいた子どもたちです。



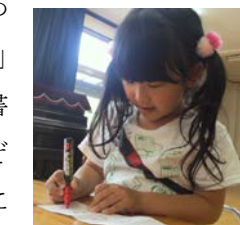
取り組んだ後に感想を聞くと…「楽しかった」「切る所が楽しかった」「きるところきりやすかった。3人もっていたから」「腰がいたかった」「嬉しかった」「手が痛くなった」「難しかったけど諦めなかった」と話す子どもたち。ぶどう組にしかできない事に誇りを感じ、みんな一生懸命に取り組んでくれたのではないかと思います。



板と板を組み合わせてのかなづちの取り組みは、土でやった時とは硬さが違うので、もっと力がいらいます。前日にかなづちを取り組んでいたもので、みんな「あれ？入っていかない」「かたいな」と言いながらも、最後まで頑張ってくれました。

看板の字もかきました

ぶどう組の子たちに夏野菜の名前を一文字ずつ書いてもらいました。朝から「私練習してきたよ」「お母さんに教えてもらっちゃった」「何回も書いたんだよ」「私見ないでもかけるよ」とそれぞれに楽しみにして来てくれたよう。グループ別に



どんな野菜を書くか話しあい、どの字を書くのか話しあいの中で決めてもらいました。さくらグループ→すいか、チューリップグループ→パプリカ、たんぽぽグループ→おくら、つくしグループ→なすび。それぞれ字を書く中で「そうそう、そうやって書くもんね」「ちょっと小さくないかな」「ここに点をかかないと」「あれ、反対じゃないかな」と教え合いながら書いていました。書くときの表情がなんとも誇らしげで素敵でした。



全員書き終わったら、1人1人どの字を書いたか発表してもらいました。「発表します。～を書きました」とみんなが見えるように見せ、発表してもらいました。恥ずかしそうな子、自信満々で大きな声で発表する子、様々でしたが、なんとも嬉しそうでみんなキラキラ輝いていました。

りんご組の子どもたちの看板作りは、ぶどうの子どもたちが書いた紙をラミネートして、ハサミを切る事を取り組みました。ラミネートをする時は、グループ別にフィルムを持ち、機械に入れるようにしました。真剣でもあり、どこか嬉しそうでもあり、1人1人の顔つきは真剣でした。ハサミを切る時は、直線にそって切る事を取り組みました。線をよく見ながら切り、「先生出来たよ」と誇らしげに見せてくれました。取り組み終えて「硬かったけど、ちょっとや



わらかくてすぐ切れた」と感想を言っていました。それぞれの素材の性質にも気づいた子どもたちです。このような行程を経て無事に看板が完成しました！子どもたち最後までよく頑張ってくれました。

◆体験画～ましろとからすごっこ～



篠田りこさん（ぶどう組）

かなるさんと、さらさんといつかさんで手をつないで遠足に行った。カラスさんがお山を飛んでいるの。みんなで鈴を見つけに行った。トンネルの所まで行ってドキドキしたけど、笑いながら行った。面白かったよ。鈴が奥の方にあつて、りく君がいかしたよ。さすがリーダーさんって思った。遠足楽しかった。



杉本のぞみさん（りんご組）

「からすさんにあつて、鈴を探して言わした。鈴見つかった。暗い所に。怖かったから泣いた。お友だちがいたから力がでた。鈴が見つかってよかった。

楽しかったこと、ドキドキした事をたくさん話してくれました。

○音楽



5月は『チポリーノの冒険』『今日が来た』のうたを歌ってきました。親子触れ合い会で「かっこよく歌う姿をみせたい」というみんなの思いもあり、この2曲を歌う姿には力がこもっていました。「みんなのお母さんやお父さんたちの前で歌うの、なんか恥ずかしい」「ドキドキしてきた」と歌う前日になると、子ども達も緊張が高まっていました。だけど、「みんなで一緒に歌おう！」と気持ちを高め、壁を一つ乗り越えた子どもたちです。本当に素敵でした！

お楽しみ会では、ぶどうさんが「畑のポルカを覚えたから畑のポルカを歌いたい」「詩のあいさつへびいちのすけもいいたい」と張り切って発表してくれました。

○集団（話し合い） ～どんな夏野菜を植えようかな～

夏野菜をみんなで植えるかどうか、子どもたちと一緒に話し合いをしました。「夏野菜植えたい」「きゅうりとか植えたいな」「まつぼっくりさんの時にお野菜もらったもんね」「うん、そうだよね」「そうだ、私たちが育てたお野菜を皆に分けてあげよう」「いいね」と声が飛び交います。保育士も「どうしてそう思ったの？」と尋ねると「だって皆に食べてもらって喜んでもらいたいもん」と答えてくれました。自分たちだけの為ではなく弟や妹たちの為に、野菜を育てたいという子どもたちの思いを聞き、とても嬉しかったです。このような話し合いをして皆で夏野菜を植えようという事に決まりました。

次は夏野菜はどんなのがあるのか、皆で考えました。「きゅうりは？」「ピーマンもある」「スイカは？」「ジャガイモは？」「とうもろこしもある」「もう植えてるたい」「そうか」「アッ！図鑑をみればいい、夏って書いてあるのを」「私見た事あるもん」とまたまた色々

考えて話してくれました。「じゃあ保育園にある図鑑を見てみよう」とみんなで見ました。「トマトもある」「なすびも！」「おくらも（おくら）」「スイカもある～食べたい」「ピーマンもあるね」「赤いピーマンも」「きゅうりもあるね」という事で、色々発見をして、トマト、なすび、おくら、スイカ、ピーマン、パプリカ、きゅうりを植える事に決まりました。

これから、野菜たちが育っていく様子を見たり、食べ物のできる過程を知ることで作る人の思いを知り、感謝して食べることの大切さを学んでいきたいと思います。

○集団 ～はないちもんめ～



りんごさんはルールを理解できる力が付き始め、ルールのある遊びが楽しめるようになってきます。そこで、皆で『はないちもんめ』を楽しんでみる事にしました。初めにジャンケンのルールをパネル

を使って確認し合いました。遊ぶ中でまだしっかりと理解が難しいりんごさんが理解できるように、ぶどうさんも「チョコキはハサミで、パーは紙の事だよ！ハサミは紙を切るからハサミの勝ち」とりんごさんがイメージしやすいように教えてくれる姿やジャンケンの対決では、「頑張れー」と自分のチームの友達を応援し合う姿や、同じチームの友達が負けてしまい相手チームに取られてしまうとならぬ姿もあり皆で楽しむことができました。



○自然・労働 ～やった～夏野菜植えた！～



いよいよ夏野菜を植える日が来ました。夏野菜を植える事をとても楽しみにしていたようで、「夏野菜今日植えるんだよね」「準備したらいくの」とワクワクしていました。夏野菜の苗をにおうと「なんかいい

におい」「これなんかトマトのにおいがする」とにおいをかいでいた子どもたちです。不思議な事に、本当に苗からはそれぞれの野菜のにおいがほんのりしていることを発見しました。夏野菜を植える時は、そーっと入れる子もいました。りんごさんは苗を持つのも初めだったので、「なんかむずかしい」「どうすると？」「でき～ん」と、

少し難しそうでしたが、ぶどうさんのするのを見ながら、また教えてもらいながら、無事植えることができました。何より自分たちが植えた事がとても嬉しそうでした。全員で「元気に大きくなってね」と声をかけ、夏野菜の定植を終えました。

今回植えた夏野菜は、ピーマン、パプリカ、すいか、ミニトマト、なす、きゅうり、おくら、それから畑の神様からなんとカボチャのプレゼントもあり、特別に植えさせてもらいました。子どもたちが好きだという事をどこかで聞いていたのでしょうか、思いがけないサプライズに喜んでいた子どもたちです。

これから、畑に行くたびに、「わ～またおおきくなってる」「今日は雨がふっているから、棒が倒れていないかな」と心配したり…苗が大きくなっていくのを皆で観察したり、いろんな発見をしながら、育てていきたいと思えます。どんな野菜が出来るのか楽しみです。



～スナップエンドウを収穫したよ～



スナップエンドウ収穫も、とても楽しみにしていたようで朝から準備も張り切っていました。畑に着くと「いっぱいある」「うわー大きいのだよ」「これ小さい」「下にもある」「先生いっぱいとれたよ」「こんなにいっぱい」とつぶやきながら収穫をしていました。さやが開いている豆をみて「えがおみたい」「おかおみたいね」と可愛いつぶやきも。それから「みんなに分けてあげよう」「まつぼっくりさんのお泊りにあげたらいいね」など自分たちだけの物ではなく、みんなにと考えている姿は本当に素敵でした。時間をかけての収穫でしたが、みんなな夢中でした。たくさん収穫した手ごたえも感じていたようでした。近所のおばあちゃんも来てくれたので、スナップエンドウとレタスをぶつぶつ交換をしたり、貴重な体験もできました！

収穫したスナップエンドウはすぐに、筋を取り、給食室で湯がいてもらいました！みんな「甘くておいしい」と何度もお代りをして食べました。匂いを味わった子どもたちでした！



6月の目標

- ・ 基本的生活の見直しや一日の流れに慣れ、新しい生活環境になじむ。
- ・ 外での遊びを充分楽しめるようにしていく

| 項目 | りんご組 | ぶどう組 |
|--------------|--|---|
| 食事 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 30分～40分くらいで食べられるようにする ・ お箸を正しく持ち、左手で器を持って食べる（こぼしたものは拾う） ・ よく噛んで食べる ・ 正座で食べる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 食器を正しく持ち、こぼさずに食べる ・ 食べ物に興味を持って楽しく食べる ・ ご飯、お汁をよそい正しく配膳する。 ・ 最後まできちんと食べる。 ・ 食べ物に興味を持って楽しく食べる。 |
| 排泄 | <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレの使い方がわかる ・ 和式トイレに慣れていく ・ 保育者の言葉がけや日々の生活の繰り返しのなかで、次の活動に見通しを持ちながらトイレに行ける | <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の活動を見通してトイレを済ませておく ・ 手洗いもキレイにする。 ・ 便の後始末も前から後へ拭けるようになる ・ スリッパを並べる |
| 睡眠 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 午睡前の排泄、着替え、布団を敷く ・ 静かに眠りにつき、気持ちよく目覚めることができる ・ 午睡後の着替え片づけが自分で見通しを持ってできる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 睡眠の大切さがわかり、自分から気持ちよく寝て、気持ちよく目覚める ・ 早寝早起きを意識的に行う。 |
| 着脱 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 服は畳んで直す ・ 薄着の習慣化 ・ シャツのすそをズボンに入れ、身だしなみを調える ・ 着脱の自立（表裏・前後） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候に応じて衣服の調節ができる。 ・ ぬれたり、汚れたりしたら着替える。 ・ シャツをズボンの中に入れる |
| 健康清潔 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 食前、トイレ、戸外遊びの後の手洗い、足洗いが習慣になる ・ 食前、食後のうがい、口拭きをする ・ 部屋の雑巾がけをする ・ 衣服の調節をする | <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動後の手洗い足洗いが習慣になる。 ・ 汗でぬれたら着替えるなど清潔に関して自分で気づくことが多くなる ・ 自分の物、他人の物、クラスのを大切にしていく（整理整頓、掃除） ・ 衣服の調節をする |
| 自然・労働 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 畑のお世話をする ・ ジャガイモ収穫 ・ お部屋の掃除 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 畑のお世話を主になってやっていく ・ ジャガイモ収穫 ・ お部屋の掃除・お休み調べ ・ ゴミ集め・トイレ掃除 |
| 身体作り | <ul style="list-style-type: none"> ・ 春の自然に触れ、虫や植物を観察したり遊んだりする ・ 夏野菜植 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 春の自然に触れ、虫や植物を観察したり遊んだりする ・ 夏野菜植 |
| 集団 | <ul style="list-style-type: none"> ・ じゃんけんのルールを | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小さい子にルールを教えて |

| | 知る | あげる |
|--------------|--|---|
| ことば | <ul style="list-style-type: none"> ・ 経験したことを話す ・ 簡単なルールが解る ・ しり通りのルールが解るようになる ・ 人前での表現(帰りの会発表) ・ 前―後ろ・右―左の区別が解るようになってくる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 経験した事だけでなく自分の願いを込めて話す。 ・ 生活のルールを話し合う。 ・ 自分の経験に基づいて話す ・ 真ん中がわかり始める ・ 絵本のイメージを膨らながら聞く ・ 言葉遊びを楽しむ ・ 言葉集め ・ 人前での表現(帰りの会発表) |
| 学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字に興味を持つ ・ 年長さんを見ながら学習の準備、後片付けを覚えていく | <ul style="list-style-type: none"> ・ ひらがな、かたかな50音読める ・ 音節分解、音韻抽出ができる ・ 学習の準備、片付けができる ・ 数のペーパーワーク |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と一緒に声を合わせて歌う ・ リズム遊び | <ul style="list-style-type: none"> ・ リズム、歌詞、音程に注意し歌う ・ 歌の雰囲気はひたり、歌う事を楽しむ ・ 友達と声をそろえて歌う(太鼓) ・ 叩くことになれる ・ タイヤ遊び ・ 基礎リズム作り |
| 造形・描画 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 経験したことを描き思いを語る ・ 折り紙は角と角をきれいに重ねあわせる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 目と手、両手指の協応動作をじっくりとする。(三つ編み) ・ 縄跳びを作る ・ 経験したことを絵を通して語る |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 折り紙―かえる、アジサイ・ハサミで形を切り抜く―あじさい | |